関町小通信

令和５年度１２月号
練馬区立関町小学校
学校だより

４年ぶりの学芸会は大成功

学芸会スローガン～　みんなでつくろう　笑顔あふれる物語　～

校　長　加園　正子

先週末に学芸会を開催しました。関町劇場（体育館）にたくさんの保護者・地域の皆さんが来場し、熱演する関町劇団員（子供たち）に大きな拍手をお送りくださいました。皆さんには、子供たちと一緒に歌を歌ったり、手拍子をしたりと、劇を盛り上げて頂きありがとうございました。皆さんのご協力のお陰で、劇場には一体感ができ、楽しい雰囲気になったことを嬉しく思います。

本校は全児童と教職員を合わせると、約 750 名になります。コロナ禍の影響で、体育館に全児童が一同に集ることは 4 年ぶりでした。久しぶりに集まることができた子供たちは、ワクワク感とやる気に満ちあふれました。劇を観ている子供たちは、話の内容により笑いあり涙ありで、関町劇場は温かい雰囲気に包まれました。

コロナ禍の 3 年間は、大きな声をだすことや、歌を歌うことを控えて学校生活を送ってきました。学芸会を成功させるためには、コロナ禍の学校生活とは、全く逆のことを求めることになりました。練習が始まった頃は、小さな声で早口になることが多く、役を演じることに不安になることもありました。しかし、子供たちは仲間と演じることや歌うことを楽しみながら、この高いハードルを乗り越えました。そして、スローガンである、みんなで笑顔あふれる物語をつくり上げることができたのです。

演技と歌を歌い終えた子供たちは、自分の役を演じきった自信に満ちた表情と笑顔で舞台を後にしました。楽しみながら自分の役を生き生きと演じる子供たちの姿をご覧いただいた皆さんから、「感動して涙しました。元気をもらいました。自分の役を演じきっていました。歌声と歌う表情がとても良かったです。」等のたくさんのお褒めの言葉を頂きました。

学芸会委員長の小倉佳織主任教諭を中心に、担任は劇の指導を、音楽専科の鈴木史子教諭等は歌唱指導を、専科教員は照明等を、かたくりルーム教員は舞台道具の入れ替えを担当しました。また、栄養士・調理室は各学年の演目にちなんだ給食メニューで、主事室は大道具作りで、PTA の方には受付係と衣装・小道具作りで、チーム関小で支えてきたことが、子供たちの笑顔あふれる学芸会につながったのだと思います。

今年も、保護者・地域の皆さんには関小の子供たちの健やかな成長のために、本校の教育活動にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

少し早めですが、皆さんよいお年をお迎えください。

１年生　くまの校長先生

2年生　からすのパンやさん

3年生　ほんとうの宝物は？

4年生　西 遊 記

5年生　魔法をすてたマジョリン

6年生　人間になりたがった猫